

第 77 回 東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会

競技注意事項

1 競技規則について

本競技会は 2024 年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本競技会要項及び競技注意事項（本注意事項）により実施する。

2 競技者の事前準備

本競技会に参加する競技者は、以下の準備をしておくこと。

- (1) 体温チェックについては、各家庭で検温し 37.5℃以上の場合は来場を控えること。
- (2) 競技に必要な物の他、AD カード入れ首掛けホルダー、東京都中体連陸上競技専門部 HP に掲載されるスタートリストを見て、自分のアスリートビブス・腰ナンバー、競技時間、競技順序、招集時間等を確認しておくこと。

3 競技場の入場及び競技者受付について

- (1) 支部代表者は T I C (100m スタート後方に設置) にて受付を行い、競技者分の AD カード、リレーオーダー用紙、プログラムを受け取ること。
- (2) 競技者は来場したら、支部代表者から競技者に発行されている当日分の AD カードを受け取り、AD カードホルダーなどに入れて、入場の際には必ず掲示をすること。
- (3) 競技場への入場に際し、競技役員の指示に従い行動すること。
- (4) 競技場の開門時刻は、全日程とも 8 時 00 分とする。ただし、12 日 (土) の棒高跳の競技者については、7 時 30 分よりウォーミングアップとして入場することができる。
- (5) 競技者の入退場は以下の通りとする。
100m スタート後方の入退場口、200m スタート後方 WC 出入口、メインスタンド中央の出入り口とする。AD カードを掲示すること。
- (6) 入場時に AD カードを掲示すること。指導者が競技者のウォーミングアップ時にスタンドから指示することを認めるが、グラウンドレベルには下りないこと。
- (7) 大会に出場する競技者及び競技者のサポートメンバー(各支部 5 名)以外の中学生は来場させないこと。
- (8) 競技の参加にあたって
 - ① ウォーミングアップ・招集等については、競技役員の指示に従うこと。
 - ② ゴミは各自で持ち帰ること。
 - ③ トイレは、メインスタンド、200m スタート外側、公園のトイレが利用できる。
- (9) プログラムに記載ミス(氏名、学年、所属等)があった場合には、競技開始の 1 時間 30 分前までに大会本部へ申し出ること。なお、プログラムの記載事項は、申し込みの際に送信されたデータをそのまま使用している。
- (10) 氏名に外字を使用する生徒で、プログラムに表記されている常用漢字ではなく、賞状には外字の使用を希望する場合には、「外字登録申請ファイル」に必要事項を記入の上、朝 9 時までに大会本部に提出すること。

4 アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、事前に発表されたスタートリストを確認し、各自で規格通りに作成すること。地域別大会から通信大会までに使用した番号とは異なるので注意すること。
- (2) 胸と背に確実に固定すること。(跳躍競技については、胸または背部のどちらか一方でよい。)
- (3) トラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して腰ナンバー標識(1枚)を各自で作成(縦 12 cm×横 18 cm)し、右腰やや後方につけること。(リレー競技は、アンカーのみつける) 字幅は 1.5 cm、高さ 10 cm を標準とする。
- (4) トラック競技に出場する競技者は、スタートリストを確認して腰ナンバー標識(1枚)を各自で規格通りに作成し、右腰やや後方につけること。(リレー競技は、アンカーのみつける)

5 ウォームアップおよび練習について

- (1) 練習は競技場内で行うことができる。競技役員(マーシャル・練習場係など)の指示に従い、指定された場所・時間の範囲内で行うこと。ただし、競技運営上、練習を制限することがある。練習中は各々が事故防止に万全を期すこと。
- (2) 周回レースが行われていない時間は、練習場係の指示に従いバックストレートで行う。

(3) ハードルの設置については、以下のとおりとする。

1日目	3年男子110mJH	準備完了～9:15 11:15～11:50	ホームストレート3～8レーン
	2年男子110mH		バックストレート6～8レーン
2日目 女子	1年男子100mH	準備完了～9:15 11:25～12:25	ホームストレート3～8レーン
	3年女子100YH		バックストレート6～8レーン
	2年女子100mH		
	1年女子100mH		

(4) 走幅跳練習走路は設置しない。招集後の公式練習で競技開始5分前まで練習を行うことができる。

(5) フィールド競技の練習は競技役員の手指示に従って、招集完了後に各々の競技場で行う。

(6) 練習に必要な用具は主催者が準備する。個人で持ち込んだ用具を使用して練習場所を占有することを禁止する。

6 招集について

(1) 競技者係は、100mスタート地点後方に設置する。

(2) 各競技の招集開始時刻・招集完了時刻、リレーオーダー用紙の提出締切時刻は、タイムテーブルに記載のとおりとする。なお、リレーオーダー用紙は、プログラムと一緒に支部ごとに種目全て配付する。なお、決勝は競技者係で準備しているものを使用し、競技者係に2枚提出すること。

(3) 招集の方法

- ① 招集開始時刻に招集所で行う。競技者係の点呼を受けること。その際、アスリートビブス・腰ナンバー標識・商標・靴底の厚さのチェックを行う。
- ② リレーはユニフォームチェックを4人そろって招集所で行う。
- ③ 招集完了時刻を超えた場合は、当該種目を棄権したものとして処理する。
- ④ リレー種目とフィールド競技の2種目にエントリーしている場合には、競技者係に申し出ること。
※トラック競技が優先

(4) 欠場について

本競技会を欠場する際は、本人または引率者・顧問または支部代表者を通じて、競技開始時刻の60分前までに競技者係へ申し出ること。

7 競技及び競技方法について

(1) トラック競技

- ① トラック競技の計時はすべて写真判定装置を使用する。
- ② レーン順はプログラム記載順とおりとする。空いたレーンがあってもつめないで行う。
- ③ 一度でも不正スタートをした競技者は失格とする。不正スタートとは、「号砲前に「片足または両足がスターティング・ブロックのフットプレートから離れたり」、「片手または両手が地面から離れたり」することを含む、あるいはその動作の結果として離れることにつながるあらゆる動作」があった場合不正スタートとなる。
- ④ スタートに関することは以下の通りとする。
 1. 「On Your Marks」または「Set」の合図後、音声や動作、その他の方法で、他の競技者を妨害し、その結果、その競技者が他の競技者の不正スタートを生じさせた時には、イエローカードを提示し警告を与える。
 2. 遅延行為（速やかに構えない、静止しない等）をした競技者へは出発係が口頭にて注意を与える。（グリーンカードを掲示する。）同一の競技者が同一レースで遅延行為を繰り返した場合は、スタート審判長がイエローカードを提示し警告を与える。「ぶるぶる」「ぶるぶる」と動いている場合は、その競技者に「注意」を与えてやり直す。
 3. イエローカードはその競技会内での累積とする。その競技会内で2度のイエローカードが与えられた場合は、レッドカードを提示され競技会から除外される。個人が除外処分を受けたら、その後のリレーには出場できない。
 4. リレー競技において除外処分を受けた場合、当該チームは失格となるが、個人種目への出場は妨げられない。
 5. 不正スタートにつながる動きや懲戒事項（TR16.5.1 16.5.2 16.5.3）につながる動きが無ければ、レースを中断したり、打ち戻したりしない。従来の「Set」の後に局所的な動きがあったとしても静止が確認されれば、スタートさせる。
- ⑤ 短距離走・ハードル走・リレーにおいて、スターティングブロックの使用を義務づける。
- ⑥ 短距離走では、競技者の安全確保のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。（ほかの競技者との接触を避けるため）
- ⑦ 800m予選、1500m、3000mは、オープンスタートで行う。（状況によってグループスタート）
- ⑧ 800m決勝については、セパレートレーンで行う。

- ⑨ 1500mでは4分40秒、3000mでは10分20秒を過ぎた競技者は、次の周回を走ることとはできない。
- ⑩ フィールド競技とリレー競技に同時に出場する競技者は、リレー競技を優先するので、必ずフィールド競技の審判員に申し出て、リレー競技終了後ただちにフィールド競技に戻ることに。また、招集所で2種目に出場することを必ず申し出ること。(ラウンド内に戻らないとパス扱いとする)
- ⑪ リレーメンバーは、申込一覧表に申込んだ6名以内とする。(都中体連ルール)
- ⑫ リレーで使用するマーカーは各校・支部選抜(学校・支部名を記入)で用意し、レース終了後必ずはがすこと。
- ⑬ 1年リレーおよび2年リレーに出場する4名の服装は、統一させる。共通リレーについては、上着を統一させる。
- ⑭ ハードル競技は、要項に記した規格で行う。

(2) フィールド競技

- ① 跳躍種目の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)にマーカーを2個まで置くことができる。
- ② 棒高跳・走高跳のバーの上げ方は、以下のとおりとする。(天候等により変更することもある)

種目	練習	競技
共通/オープン男子棒高跳	2m50、3m00 3m50、4m00	2m40 2m60 2m80 2m90 3m00 3m10 3m20 以後10cmずつ 4m00以後は5cmずつ
共通/オープン女子棒高跳	1m80、2m20、 2m60、3m00	1m80 2m00 2m20 2m30 以後10cmずつ 3m00以降は5cmずつ
1, 2年男子走高跳	1m40 or 1m55	1m45 50 55 60 65 70 73 以後も3cmずつ
3年男子走高跳	1m50 or 1m65	1m55 60 65 70 75 78 81 以後も3cmずつ
1, 2年女子走高跳	1m20 or 1m40	1m25 30 35 40 43 46 以後も3cmずつ
3年女子走高跳	1m30 or 1m50	1m35 40 45 50 53 56 以後も3cmずつ

※1位決定のためのバーの上げ下げは、走高跳は2cm、棒高跳は5cmとする。
 ※2組以上で行うグループの走高跳の高さを上げるタイミングは同時に行う(TR25.16)。
 ※2組以上で行うグループの走高跳では、片方のグループが3人以内となったら、1組の試技順から順番に試技を行う。

- ③ 投てき用具は、要項に記した規格を用いる。
- ④ 走幅跳・砲丸投・円盤投の試技は1人3回行い、その後TOP8の競技者がさらに3回行う。その際、同時進行で下位記録の競技者から競技を行い、順位を決定する。

(3) 抗議について

競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果が放送発表されてから30分以内(同一日に決勝がある場合は15分)に、支部代表者がTICに申し出ること。審判長が再度検証し、担当総務員を通じて裁定を伝える。

抗議後の決定に不服がある場合は、預託金10000円を添えてジュリー(上訴審判員)に上訴することができる。上訴が受理されなかった場合は、預託金は没収される。

(4) 助力

- ① ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。
- ② 競技者が競技場所を離れる場合は、競技役員に申し出なければならない。
- ③ 競技中に競技場内のグラウンドレベルから助言(指導)を行うことは禁止する。AゾーンとBゾーンアウトフィールド付近及びバックスタンドに区画された範囲をコーチングエリアとする。
- ④ フィールド種目に出場している競技者が、コーチングエリアから録画されたそれ以前の映像を見るために、コーチングエリアの近辺であれば競技区域内に持ち込むことができる。また、映像を確認するために録画再生機器(スマートフォン・ビデオカメラ等)を手にしても良い。招集所からの持ち込みは認められない。

8 用器具について

競技に使用する用器具は、すべて競技場備え付けのものを使用する。ただし、棒高跳用ポールは、個人所有のものが使用できる。

9 競技用靴について

- (1) スパイクピンの長さは9mm以内とし、走高跳は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクピンの数は11本以内とする。
- (2) World Athletics(WA)が承認したシューズリストを確認のこと。(Noと記載されている靴については使用できない。)
- (3) 靴底の厚さについては、TR5及び「競技用靴に関する規定」に基づき、以下のように扱う。

- ①靴底（ソール）の厚さについての規程は、砲丸投・円盤投を除くフィールド種目および800m未満のトラック種目は最大20mm、800m以上のトラック種目は最大25mmである。（砲丸投・円盤投については、規定は20mmだが、除外規定を適用する。）
- ②招集所での厚みの検査は行わない。
- ③審判長が明らかに有利に働くと判断した場合には、競技前または競技後に検査が行われることがある。上記規則に違反が認められた場合には、記録は無効となる。

10 表彰について

- (1) 各種目の得点を1位8点、2位7点、・・・8位1点とし、総合・男子・女子の3部門に分けて順位をつける。
- (2) 総合優勝支部に教育委員会杯、男女優勝支部には連盟杯及び賞状を授与する。
- (3) 総合・男子・女子の部の2位～8位までは賞状を授与する。
- (4) 8位までに入賞した競技者に賞状を授与する。

11 製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等について

競技場に製造会社のロゴ、ブランド名、デザインマークのついた衣類やバッグ類等を持ち込む場合、「競技会における広告および展示物に関する規定」を遵守すること。競技役員から指摘・指導された場合は、その指示に従い、必ずテープを貼って隠すこと。

12 競技場使用上の注意

- (1) フィールド内の芝生は使用禁止となっているので入らないこと。
- (2) 更衣室は使用禁止とする。各自更衣を済ませてくること。
- (3) 貴重品や衣類の管理は各自で行い、盗難防止に努めること。
- (4) ビン・缶類の持ち込みは禁止とし、ごみ類は必ず持ち帰ること。（競技場周辺や駅、コンビニ等に捨てないこと）
- (5) 競技場内の整備に努めること。トイレは清潔に使用すること。
- (6) 本部前は通行禁止とする。また、セーフティーコーン設置場所には絶対に入らないこと。
- (7) 競技場への往復の行動には十分注意すること。駅まではバス通りを通り、団地内を通る道は通らない。

13 その他

- (1) 競技中の事故については主催者で応急処置をするが、以後の責任は負わない。
- (2) 引率の先生方には競技役員として協力をお願いします。支部毎にご協力の要請をお願いします。
- (3) 支部毎に決められた場所を待機場所にしますのでご協力をお願いします。
- (4) 記録はその都度、アナウンスおよび記録結果携帯速報サイトに発表する。記録の貼り出しは行わない。
- (5) 大会プログラムは残部がある場合に限り、TICにて販売する。
- (6) 記録証は、1部300円で発行する。希望者は各日ともに15時00分までにTIC（メインスタンド正面玄関）にて申し込むこと（それ以降の時間の競技の記録証は予約すること）。
- (7) 届けられた遺失物については、大会当日のみTICで保管する。その後一時保管（R6大会要項冊子P.11参照）するが、その他の盗難および紛失に関しては一切責任を負わない。10月27日（日）までとする。保管期間を過ぎたものは処分する。
- (8) 競技場の開門時間・主任・顧問打合せについて
★開門時間 8時00分 ★主任打合せ 8時30分 ★支部代表者打合せ 8時45分
- (9) 撮影は、引率者・保護者ADカードを所持している者のみとし、生徒は撮影できない。また、撮影禁止区域ではADカードの有無に関わらず撮影をしないこと。（短距離、リレー競技スタート後方、走高跳、走幅跳の正面、他役員の指示した場所）引率者・保護者ADカードは写真撮影許可書にもなっているため、場内では必ずADカードが見える位置に携行すること。
- (10) ADカードを発行された関係者が競技場内に入場できるが、保護者の観戦はメインスタンドの指定された区画とし、競技者の待機区画等の往来は不可とする。

第77回東京都中学校支部対抗陸上競技競技者権大会の記録結果携帯速報サイトをご利用ください。

競技終了後に、次のサイトにアクセスすれば、ご覧になれます。

<http://gold.jaic.org/jaic/member/tokyo/cyuugaku/index.htm>

QRコードもご利用ください。



競技会コード 24 13 3003 競技場コード 132080